

# New Year Dinner Concert 2022

## 心ゆさぶるJAZZYデュオ

魅惑の映画、ミュージカル音楽 不朽のピアノ演奏とともに



© HIRO KIMURA

<https://ishimaru-kanji.com>

## 石丸 幹二 [ボーカル]

東京音楽大学でサックス、東京藝術大学で声楽を学ぶ。1990年、劇団四季入団、ミュージカル『オペラ座の怪人』でデビュー、『アスペクト オブ ラヴ』、『美女と野獣』等に主演し、2007年退団。その後も、ミュージカル界をけん引する俳優として、『ジキル&ハイド』、『ライムライト』、『ラブ・ネバー・ダイ』、『パレード』等に主演する。

映像では歌番組の他、大河ドラマ「青天を衝け」、「相棒」、「ライオンのおやつ」、「少年寅次郎」、「半沢直樹」等に出演。現在、「題名のない音楽会」司会、「ゲンキの時間」司会、FM「Grand Seiko THE NATURE OF TIME」パーソナリティーを務めている。

ソロアーティストとして、アルバム「kanji ishimaru」「Love Songs」「My Musical Life」「My Favorite Songs」、オーケストラコンサートのライブ収録盤「An EVENING with KANJI ISHIMARU」の他、ジャズギタリスト吉田次郎との「Something's Coming」、リュート奏者つのだたかしの「武満徹のうた」等を発表。昨年はデビュー30周年記念の「The Best」「Duets」をリリース、併せて今年、オーケストラコンサートを全国5都市で開催した。

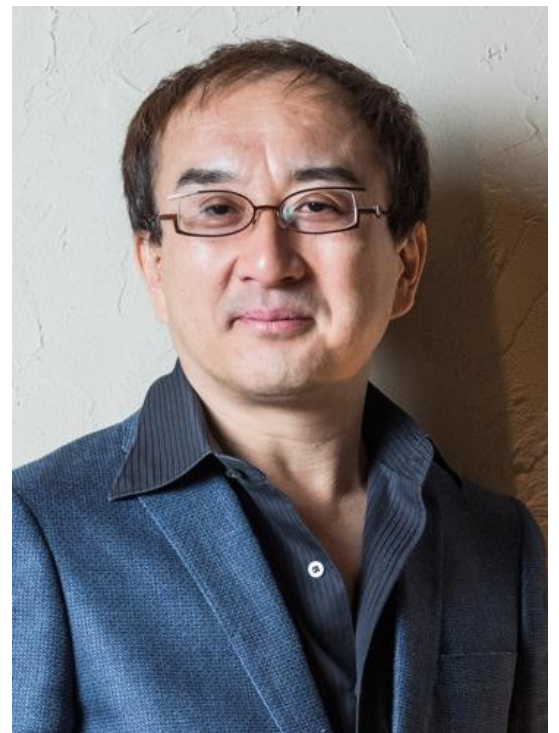
クラシック音楽とは「朗読」での関わりが多く、R.シュトラウス「イノック・アーデン」、ストラヴィンスキー「兵士の物語」、コープランド「リンカーンの肖像」、メンデルスゾーン「夏の夜の夢」の朗読盤をリリースする等、声の表現の多様性を探っている。

## クリヤ・マコト [ピアノ]

ウェストヴァージニア大学にて言語学を学ぶ傍らライブ活動を開始。卒業後はピッツバーグ大学にてジャズ講師を務め、同時に米東海岸各地でジャズピアニストとして活躍。グラミー受賞者チャック・マンジョーネ・グループに参加するほか、ジェームズ・ムーディー、ドナルド・バードなど多くの巨匠と共演した。帰国後は、自らのグループで活動を開始し、20枚以上のリーダー作をリリース。また10回以上におよぶヨーロッパ・ツアーを行い、ブラジル、オーストラリア、インドでのツアー、モロッコ、インドネシア、台湾、エジプトでの公演も成功をおさめる。ポーランド国営ラジオ、ハンガリー国営テレビにて自己のグループのライブ番組がオンエアされ、イギリスBBCラジオ、アメリカ国営放送局VOAのジャズサイトにて特集が組まれるなど、常にワールドワイドな活動を展開している。

時にジャズという枠に収まらぬ多才ぶりを発揮し、平井堅、八代亜紀などポップスの作編曲・音楽プロデュース、TVテーマ曲、映画音楽なども手がける。2016年、プロジェクト「アコースティック・ウェザー・リポート」を立ち上げソニーミュージックよりアルバムをリリース。またBS-TBSの報道番組「報道1930」、NHK神戸夜のニュース番組「Live Loveひょうご」で音楽を担当。BS日テレの異色歌謡番組「今宵☆jazzyに！」では、編曲およびバンドリーダーを担当している。

アメリカの大学在学中に、地域のリアルな黒人コミュニティーの密着して音楽の基礎を築いたクリヤは、バークリー音楽院出身者が主流の日本音楽シーンの中でひととき異色な存在。ソウルフルなテイスト、音色の透明感、鋭いナイフのようなリズムの切れ味、オープンで確かな音楽性が国境を越えて共感を獲得している。



<http://www.makotokuriya.com/>